



熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和元年5月号



熊本地震犠牲者追悼式

4月14日：この先生きていく上で忘れようにも忘れられない日を今年も迎えました。あれから3年の時が流れました。もうそんなにと感じる時もあるれば、まだ…と思う時もある不思議な感覚です。10時から熊本県主催の『熊本地震犠牲者追悼式』が県庁地下大会議室で開かれ、犠牲者の御遺族はじめ知事、国會議員、県議會議員、県下の市町村長列席の中で厳かに始まりました。遺族代表の南阿蘇村の増田敬典さんは挨拶で60年連れ添った奥様を亡くされたこと、南



阿蘇が大好きだから微力ながら復興の手伝いをしたいとお話しされました。

熊本市も各地で甚大な被害がありました。近見町の液状化については昨年地下水位低下工法の実証実験が行われ、再発防止に一定の効果があることが判明しました。今後各戸説明して合意を得たところから広範囲の工事がスタートします。(地下水位低下工法が不適用の地域は今夏までに市の方針を示すとのこと)

人間の記憶はどうしても月日の流れとともに薄れていくのは否めません。しかしこの熊本地震だけは風化させることなく、後世に伝えていかなければなりません。そして議会に身を置く私たちは次に来るであろう災害に備えて防災・減災に対する議論を尽くして態勢を整えなければならぬと改めて強く思ったのでした。

川尻公会堂再開



われ公会堂は倒壊の危険があることが判明しました。早速工事に取り掛かるも熊本地震が発災し、液状化で建物が傾くなど新たな被害もありました。この度、関係者の知恵と工夫で80畳の大広間の回り廊下に格子壁を設置することににより原型を残して完成しました。

当日は市長出席のもと、川尻町の多くの皆さんで来席の中で式典、祝賀会が盛大に行われました。令和という新しい時代の幕開けに生まれ変わった公会堂の再開で川尻の魅力あるまちづくりが進むことでしょう！

4月10日、『川尻公会堂』の耐震改修完成式典に出席しました。公会堂は昭和5年地元の瑞鷹酒造から町の振興のために寄贈されました。当時から自治会、婦人会、老人会：あらゆる地域団体が活動の拠点施設として利用するほか、文化講座をはじめ成人式や結婚式なども行われ、まさに川尻の皆さんにとって校区的シンボルの存在でした。私にとっても選挙のたびに演説会で利用させていだいた思い出深い施設です。東日本大震災以降、公的施設の耐震診断が行



高島和男事務所

届けます！あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です！

〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7

TEL.096-288-6004

FAX.096-288-6009

ホームページでは写真付日記を毎日更新！

<http://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

